

科目名称：	ビューティ演習（美術学科）	
担当者名：	上野 佐奈美、上野 理恵	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
セルフビューティの基本知識と基本技術の習得は、社会人としての身だしなみと好印象の外見力の基本として必要不可欠となっています。この授業では、ビューティーマナーと日常マナー、自分らしくかつ目的に合わせた、セルフメイク、セルフヘア、セルフネイルの技術等と就活基本メイクを身に付けることで自分の良さを表現して印象力を上げイメージアップすることをめざします。		
授業の達成目標・到達目標		
身だしなみの基礎とビューティーマナーや日常マナー、自分に合ったセルフメイク、セルフヘア、セルフネイルの基本技術を身につけます。スキンケアの基礎知識や目的に合わせた好印象のメイク等イメージアップができるようになります。また外見からのアプローチで内面の向上も目指し、さらに自分の良さを引き出します。到達目標については、就活メイクや社会人になってからも活かせるセルフビューティの技術を自分の個性などに合わせ目標を決め、各回の演習の中で磨いていきます。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)					0
美術DP(4)			50	50	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 セルフビューティとビューティーマナー、イメージアップについて。セルフビューティファイルの作成	シラバスの精読。セルフビューティについてまとめる(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡、デジタルカメラか携帯電話[写真撮影用])	60分
第2回 ベストカラーコーディネート(グループワーク)	セルフビューティとビューティーマナー、イメージアップについて復習する(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡)	60分
第3回 ベストカラーコーディネート(プレゼンテーション)	ベストカラーについて復習する(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡)	60分
第4回 メイク基礎&演習1(フェイスクア、就活メイクとポイントメイク)	メイク道具やヘアー、ネイルの道具の準備をする(持参:メイク道具、顔全体が映る鏡)	60分
第5回 メイク基礎&演習2 実技チェック1・学科チェック1(就活メイク)	就活メイクとポイントメイクについて復習する(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡、デジタルカメラか携帯電話)	60分
第6回 ヘアーケア&アレンジ演習	就活メイクについて復習しておく(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第7回 ヘアーケア&実技チェック2	ヘアーケア&アレンジについて復習する(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第8回 メイク&ヘアーまとめ 実技チェック3・学科チェック2	メイク基礎、ヘアーケアについて復習する(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第9回 マナー講習とグループワーク(ビューティーマナー、日常マナー)	ヘアーケア&アレンジについて復習する(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡、デジタルカメラか携帯電話)	60分
第10回 ネイル基本&演習(ハンドケア、ネイルケア)	マナー講習の内容を復習する(持参:メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第11回 ネイル基本&演習	ネイルケア、ハンドケアの復習(持参:メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第12回 実技チェック4(ネイルチップ)・学科チェック3	ネイル実技、学科の復習(持参:メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第13回 ネイルまとめ(プレゼンテーション)	ネイルチップの復習(持参:メイクとネイルの道具、顔全体が映る鏡)	60分
第14回 総合ディスカッション&アロマハンドケア.実技チェック5	就活メイク、ヘアーの復習する(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡、デジタルカメラか携帯電話)	60分
第15回 総合演習&まとめ(ビューティファイル)	アロマケアの復習をする(持参:メイクとヘアーの道具、顔全体が映る鏡、デジタルカメラか携帯電話)	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、復習内容を小レポートにまとめておくこと。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
総合演習の実技チェックおよびレポート提出を50%で評価する
また、授業への貢献・積極的関与を50%で評価する。

課題に対するフィードバック

授業内、次回までのプリントは評価し、返却する。また、実技チェックはその都度、技術向上に向けてのアドバイスを含め評価する。

教科書・参考書

オリジナル教材(授業時にプリント配付)、その他、演習用の基本メイク、ヘア、ネイル道具の消耗品が必要。